

福みえ社

伝える
つながる
ひびきあう

4・5

2021 April&May

No.360



三重保育院のこどもたちによる素敵な作品を掲載させていただきます！

もくじ

- 特集：令和3年度 三重県社会福祉協議会事業計画・予算 … 2
- 三重県社会福祉協議会新任職員紹介 …… 5
- 令和2年度赤い羽根共同募金運動実績及び配分のご報告 …… 6
- 令和3年度共同募金配分申請を受け付けています …… 8



ふれあいネットワーク

特集

令和3年度 三重県社会福祉協議会事業計画・予算

基本的な考え方

● 本会では、令和2年3月に、地域福祉活動支援計画・強化発展計画として「新ウエルビーイングみえプラン（第1期計画）」を策定し、それに基づき事業を計画しています。

● 「新ウエルビーイングみえプラン」では、「認め合い 包み込み 共に生きる地域社会をめざして」という基本理念を掲げ、その実現に向けて3つの基本目標を設けています。

● 令和3年度においては、3つの基本目標に沿って、地域福祉を取り巻く状況や国・県等の動向などを踏まえ、県社協が重点的に取り組む事業を以下のとおり整理しています。

● なお、事業（活動）の展開に当たっては、国・県等の施策との連携、社協・福祉関係団体等との連携強化を一層図りながら、取り組んでいきます。特に、令和元年度に県が策定した「三重県地域福祉支援計画」との連携により、着実に計画を推進していきます。

● また、各事業の実施に際しては、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に引き続き取り組むとともに、新型コロナウイルスの感染状況によっては、事業実施の内容や手法を変更するなど弾力的に対応することとします。

重点事業

① 共に生きる地域社会づくりの推進役としての市町村協の機能強化

● 地域におけるフォーマル・インフォーマルな社会資源が有機的に連携できる体制を各地域で構築できるように、昨年度から実施している相談支援包括化推進員等養成事業等を通して市町村協職員や市町行政職員の資質向上に取り組んでいます。

● また、地域での人と人のつながりが希薄になっていく中で、誰もが安心して暮らせる地域をつくるための福祉教育の重要性はますます高まっています。昨年度には、市

町社協の福祉教育の取組状況について調査を実施しましたので、今年度はその結果を活用し、セミナーの開催等を通じて市町村協の支援に取り組めます。

② 生活困窮世帯への相談支援の充実強化

● 生活福祉資金貸付事業については、新型コロナウイルスの影響により減収した世帯への特例貸付により、貸付件数が大幅に増加しました。今後は、貸付世帯への相談支援の強化と、それにあわせて適切な債権管理が必要となります。

● 新型コロナウイルスの影響もあり、外国籍住民からの相談がこれまで以上に増加しています。「三重県生活相談支援センター」では、オンラインでの相談や通訳等を活用することで、相談支援を効果的に実施します。

① 多様な人材の福祉分野への参入促進 およびマッチング強化

● 福祉を支える人材の確保は大きな課題であり、新卒者のみならず、シニア世代、子育て世代の女性、潜在有資格者、外国人など多様な人材の参入促進が求められています。昨年度から実施している「介護未経験者を対象とした入門的研修」や外国人介護職員の雇用を促進する事業などを通じて裾野の拡大を図るとともに、福祉の現場とのマッチングを強化します。

② 福祉サービスの質の向上のための多様な研修機会の提供

● 質の高い福祉サービスが持続的に提供されるためには、研修の実施を通じて福祉人材の定着支援・育成に取り組むことも重要です。本会ではテーマ別や階層別などの様々な研修を実施していますが、新型コロナウイルスの影響により、集合型の研修実施が困難となることもありま

● した。今後は、オンラインの研修開催など開催方法を工夫することで、より多くの方が参加できる研修機会の提供が必要です。

**基本目標 ③
災害時に備えた支援活動の充実**

① 三重県災害派遣福祉チーム（三重県 DWAT）および三重県広域受援計画（第5章 高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画）の体制整備

令和元年度に締結した協定に基づき、具体的な活動に取り組みることができる体制整備が求められています。昨年度から実施している研修を継続し、新たな登録員を増やしながら、登録員の資質向上にも継続的に取り組めます。

② 市町災害ボランティアセンターの広域連携体制の構築・強化

災害時に被災地では、市町社協を中心に災害ボランティアセンターが設置・運営されます。災害の規模が大きい場合には、一つの市町社協だけで災害ボランティアセンターを運営することが難しい場合もあり、社協間の連携を強化することで、効果的に運営することが期待できます。昨年度には市町社協と検討を重ね、県内6ブロックごとに近隣市町社協間の連携体制が構築されつつあります。今年度は、継続的に検討するだけでなく、研修や訓練を開催することで体制強化を図ります。

事業計画

基本目標 ① 地域共生の基盤づくり

推進項目 ① 支え合う地域づくりの支援

市町社協の機能強化の推進、小地域福祉活動支援の強化、福祉教育の支援、共同募金との連携強化 等

推進項目 ② 多様な主体との協働

民生委員・児童委員の活動支援と連携強化、種別協議会との連携・協働の推進、社会福祉法人の公益的な取組の促進、ボランティアアクションを支える仕組みづくり、当事者活動の支援強化 等

推進項目 ③ 総合的な相談支援機能の強化

市町社協における権利擁護活動の支援、成年後見制度の利用促進による権利擁護活動の支援、生活困窮者の自立支援、生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金等貸付事業の推進 等

基本目標 ② 持続可能な社会福祉の仕組みづくり

推進項目 ① 福祉人材の確保・就労支援

三重県福祉人材センター機能の充実・強化、多様な人材の福祉分野への参入促進、福祉分野の魅力発信と就労支援、三重県保育士・保育所支援センターの充実・機能強化 等

推進項目 ② 福祉人材の定着支援と育成

福祉事業所との連携・支援の強化、福祉人材のキャリアアップ支援、福祉人材の専門性の向上、介護支援専門員試験・研修センターの機能強化 等

推進項目 ③ 質の高い福祉サービスに向けた支援

社会福祉事業の経営支援の強化、福祉サービスにかかる苦情解決体制の整備、福祉サービスの評価活動の推進 等

基本目標 ③ 災害時に備えた支援活動の充実

推進項目 ① 災害時に備えたネットワークの構築・基盤強化

三重県 DWAT の体制整備、三重県広域受援計画（第5章 高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画）の体制整備、全社協、東海北陸ブロック県・指定都市社協や県内市町社協との連携・協力、災害時のボランティア活動支援、市町社協や福祉施設・事業所における災害対応強化の支援 等

県社協の経営基盤の強化

推進項目 ① 組織体制の強化

組織体制の強化、事務局体制の強化、財務規律の強化 等

推進項目 ② 福祉のプラットフォームの構築

広報の充実・強化、福祉の連携・協働の拠点としての環境整備、シンクタンク機能の強化、三重県とのパートナーシップの強化 等

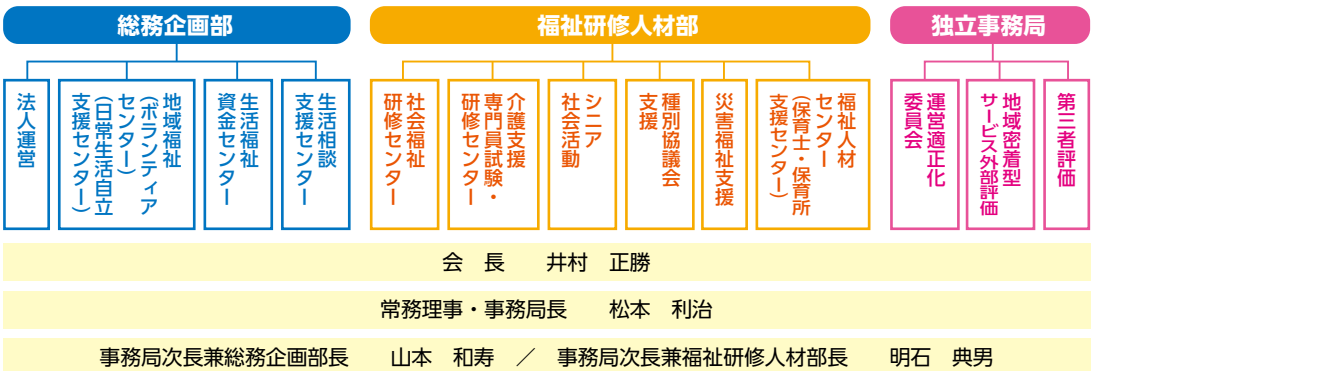
令和3年度 一般会計収支予算

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 千円)

一般会計収支予算					一般会計収支予算				
勘定科目	本年度予算額	前年度予算額	増減額		勘定科目	本年度予算額	前年度予算額	増減額	
事業活動による収支					施設整備等による収支				
会費収入	26,826	26,826	0	事業活動による収支	収入	0	0	0	施設整備等による収支
分担金収入	50,317	47,299	3,018		支出	400	2,964	△ 2,564	
寄附金収入	488	488	0		固定資産取得支出	0	240	△ 240	
経常経費補助金収入	240,461	240,254	207		施設整備等支出計(5)	400	3,204	△ 2,804	
受託金収入	243,351	197,790	45,561		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 400	△ 3,204	2,804	
事業収入	68,107	62,946	5,161		積立資産取崩収入	0	102	△ 102	
負担金収入	8,456	8,456	0		事業区分間繰入金収入	1,528	4,506	△ 2,978	
助成金収入	1,802	2,071	△ 269		拠点区分間繰入金収入	10,047	12,365	△ 2,318	
受取利息配当金収入	250	250	0		サービス区分間繰入金収入	663	3,674	△ 3,011	
その他の収入	5,900	6,393	△ 493		その他の活動による収入	20,224	109,937	△ 89,713	
事業活動収入計(1)	645,958	592,773	53,185		その他の活動収入計(7)	32,462	130,584	△ 98,122	
人件費支出	273,541	268,400	5,141		積立資産支出	7,758	6,894	864	
事業費支出	273,073	209,664	63,409		事業区分間繰入金支出	1,528	4,506	△ 2,978	
事務費支出	243,338	238,454	4,884	拠点区分間繰入金支出	10,047	12,365	△ 2,318		
助成金支出	6,797	9,378	△ 2,581	サービス区分間繰入金支出	663	3,674	△ 3,011		
負担金支出	17,955	13,434	4,521	その他の活動による支出	0	876	△ 876		
事業活動支出計(2)	814,704	739,330	75,374	その他の活動支出計(8)	19,996	28,315	△ 8,319		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 168,746	△ 146,557	△ 22,189	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,466	102,269	△ 89,803		
				予備費支出(10)	2,770	0	2,770		
				当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 159,450	△ 47,492	△ 111,958		
				前期末支払資金残高(12)	595,419	642,911	△ 47,492		
				当期末支払資金残高(11)+(12)	435,969	595,419	△ 159,450		

三重県社会福祉協議会 事務局体制と主な業務の所管 (順不同 令和3年4月1日)



総務企画部	福祉研修人材部	独立事務局	三重県共同募金会		
総務課 課長 山口 訓広 主事 島 郁絵 嘱託 佐野 瞳 業務補助 加藤 龍知 生活福祉資金課(セター) 課長(セター) 日向 智信 専門員 平井 貴子 主事 天野 綾佳 主事 藤崎 雄彬 主事 橋本 允聖 嘱託 栗谷 真子 嘱託 小宮 友亜 嘱託 橋本 徳幸 嘱託 森 智 嘱託 北出真由美	地域福祉課 課長 山崎 和彦 地域福祉・市町社協 主任 濱田 康太 ボランティアセンター 課長 山崎 和彦 副参事兼 課長補佐(センター) 佐藤 克哉 日常生活自立支援センター 課長(セター) 山崎 和彦 主事 谷岡佑一郎 主事 古郡 健太 民生委員児童委員 嘱託 佐々木ちひろ 生活相談支援課(セター) 副部長課長(セター) 中川 博 嘱託 南 美千世 嘱託 福田 政嗣 嘱託 田中 智志 嘱託 倉本 浩文 嘱託 川崎 秀一 業務補助 田中 亜依	福祉育成支援課 課長 加藤 千弘 課長補佐 齋 松尾 満正 社会福祉研修センター 課長(セター) 加藤 千弘 主任 小倉 諒也 主事 向井 雄万 主事 齋 濱口みき乃 主事 齋 榮田 真子 嘱託 仁田 早苗 嘱託 岩崎 紀子 シニア社会活動・種別協議会支援 主事 齋 松本 瑞季 嘱託 小谷 晴美 嘱託 宮本 孝明 業務補助 坂野 美樹 災害福祉支援 課長補佐(兼) 松尾 満正 介護支援専門員試験・研修課(セター) 課長(セター) 上村 吉正 主任 片山 誠一 嘱託 梶田 美幸 嘱託 倉田 祐子 嘱託 出口 智美 嘱託 齋 福永 綾子 嘱託 齋 三浦 暁子	福祉人材課(センター) 課長(セター) 富田真実子 副参事兼 課長補佐 坂口 ゆり 人材確保・定着支援グループ 課長補佐(兼) 坂口 ゆり 専門員 前川るみ子 専門員 山地 雅子 専門員 井深 麻裕 専門員 太田 育子 専門員 中西由美子 嘱託 坂本 由美 嘱託 北村かおり 嘱託 齋 矢田 幸洋 保育士・保育所支援センター 課長(セター) 富田真実子 嘱託 佐藤 安紀 嘱託 西村 友美 人材育成グループ 主事 秋葉 勇弥 嘱託 榎本千代子 嘱託 荒木 裕恵 嘱託 東海 友紀 嘱託 中西由起子	運営適正化委員会 事務局長 稲木 和彦 地域密着型外部評価 部長(兼) 山本 和寿 課長(兼) 山崎 和彦 嘱託 坂口 豊子 第三者評価 課長(兼) 総務 山口 訓広 課長(兼) 山崎 和彦 課長(兼) 日向 智信 課長(兼) 富田真実子 課長(兼) 加藤 千弘 課長補佐(兼) 佐藤 克哉 課長補佐(兼) 坂口 ゆり 主任(兼) 小倉 諒也 主任(兼) 濱田 康太 主任(兼) 片山 誠一 主事 島 郁絵	三重県社会福祉事業職員共済会 事務局長 田畑 知治 課長 関根 正樹 主事 森 拓真 主事 新田中真莉奈 共同募金会 嘱託 鈴木 洋子 嘱託 橋本ひとみ 嘱託 鈴木香奈子 嘱託 小西伊津美
			三重ボランティア基金 事務局長(兼) 山本 和寿 次長(兼) 山崎 和彦 書記(兼) 濱田 康太 書記 小林由香里		

(副 = 新任)

三重県社会福祉協議会新任職員紹介

～新人職員からのメッセージ～



三重県社会福祉事業職員共済会
三重県共同募金会

たなか まりな
田中 真莉奈

今年度より三重県社会福祉協議会に入職いたしました、田中と申します。三重県社会福祉事業職員共済会・三重県共同募金会にて業務をすることとなりました。以前は旅行会社で勤務しておりましたので全くの異業種となりますが、日々の業務の中で先輩方に教えていただくことを吸収し、少しでも早く、職場そして地域の方々のお役にたてるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

今年度から三重県社会福祉協議会に入職しました橋本です。生活福祉資金課に配属されることとなり、主に教育・福祉資金を担当させていただくこととなりました。まだまだ色々なことがわかりませんが、少しでも早く地域の方々のお役に立てるように、精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。



総務企画部
生活福祉資金課

はしもと いっせい
橋本 允聖



福祉研修人材部
福祉育成支援課

えいだ まこ
榮田 真子

今年度より三重県社会福祉協議会に入職いたしました、榮田です。福祉育成支援課で主に研修の開催・運営を担当させていただくこととなりました。ずっと三重県で暮らしており、三重県に貢献できることがしたいと考えていたため、県の福祉という大きな事業に関わることができ、とても嬉しいです。慣れないことも多く大変ですが、先輩方からの教えをしっかり吸収し、早く皆さまのお役に立てるよう精一杯努めます。よろしくお願いいたします。

はじめまして、今年度より三重県社会福祉協議会に入職いたしました、松本と申します。福祉育成支援課で、種別協議会・シニア社会活動を担当させていただくこととなりました。分からないことばかりの毎日ですが、先輩方からたくさん学び吸収し、業務に勤しんで参りたいと思います。生まれ育った地元三重のみなさまのお役に立てるよう日々誠実に取り組み、一生懸命頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



福祉研修人材部
福祉育成支援課

まつもと みずき
松本 瑞季



福祉研修人材部
福祉育成支援課

はまぐち の
濱口 みき乃

はじめまして、今年度から三重県社会福祉協議会に入職しました、濱口と申します。福祉育成支援課で主に研修に関する業務を担当させていただくこととなりました。幼少期から人に喜んでもらえることに喜びを感じ、大学時代は外国人の生活サポートに尽力してまいりました。いつも相手の方のお顔を思い浮かべながら、地元である三重県に少しでも貢献できるよう、日々業務に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



令和2年度 赤い羽根共同募金運動実績及び配分のご報告

令和2年10月1日から12月31日まで、県内各地で赤い羽根共同募金運動を実施しました。

新型コロナウイルス禍の中で、県民の皆さまを始め各種団体など多くの方々のご協力、ご支援を頂きましたこと厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた募金額は、2億8千5百万円余で、昨年度実績額よりも約1千11万円の減少となりました。

この募金は、県内の社会福祉協議会、社会福祉関係団体、ボランティア団体、NPO等に配分され、令和3年度の地域福祉活動事業や施設利用者のための設備等の充実に活用されます。また、募金の一部は災害等に備えるため、災害等準備金として積み立てられます。

今後とも赤い羽根共同募金運動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

● 募金目標額と実績額について

(単位：円)

		目標額	実績額	前年度実績
令和2年度共同募金		297,550,000	285,182,280	295,297,584
内訳	一般募金	250,142,680	247,170,777	253,582,045
	地域課題解決型募金	5,000,000	5,000	
	地域歳末たすけあい募金	28,410,000	25,273,549	28,698,926
	NHK等歳末たすけあい募金	13,997,320	12,732,954	13,016,613

● 配分（助成）額

(単位：円)

	施設・団体		社会福祉協議会		合計	
	件数	配分額	件数	地域配分額		
一般募金	広域配分	19	6,741,000	1	6,320,000	13,061,000
	地域配分	2	485,000	29	203,547,321	204,032,321
地域歳末たすけあい募金			17	25,273,549	25,273,549	
NHK等報道機関歳末たすけあい義援金		8,850,366			8,850,366	
合計					251,217,236	

(注) 配分額には、募金額以外に災害等準備金取崩額と過年度配分戻入金が含まれます。

一般募金・地域歳末募金の配分先の詳細は、HPに掲載しています。

● NHK 等報道機関歳末たすけあい義援金の内訳

(単位：円)

配分先		配分額 (円)
テーマ事業	ソフト事業	3団体 900,000
	福祉車両及び備品購入事業	1団体 410,000
児童福祉施設	重点配分	3施設 860,366
児童養護施設	卒業祝金（自立する児童）	26名分 780,000
	自立支援金	25名分 2,500,000
母子生活支援施設	小中学校入学支援金	10名分 300,000
里親	支援金	155名分 3,100,000
合計		8,850,366

● 災害等準備金積立と経費

(単位：円)

令和2年度災害等準備金積立（募金実績の3%）	8,550,000
次年度配分引当金	5,750,000
共同募金運動経費	37,959,899
合計	52,259,899



令和2年度

共同募金配分金交付式の開催

4月9日（金）、三重県社会福祉会館で令和2年度共同募金配分金交付式を開催し、昨年10月から3月の間に街頭や地域、職場などで皆さまからお預かりした募金を、県内21福祉団体と30社会福祉協議会に配分しました。

受配団体を代表して公益財団法人 三重県国際交流財団、社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会に配分金交付書を手交しました。

また、各団体からは共同募金を活用して実施する事業内容をご報告いただきました。

募金は、さまざまな形で「じぶんの町を良くする仕組み」のために、それぞれの団体で有効に活用いただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。



合同贈呈式 日程：令和3年4月9日（金）／場所：三重県社会福祉会館3階 講堂

令和3年度

三重の赤い羽根共同募金 バッジデザインを募集しています！


① 概要

三重県共同募金会では、県民の皆さんの赤い羽根共同募金に対する理解を深め、運動の普及拡大を図ることを目的に、三重県オリジナルの募金バッジを作成します。

採用作品は、本年度の啓発バッジとするほか、その他ポスターやチラシに活用します。

② 賞

① 「三重の赤い羽根賞」（採用作品）	1点	賞金	30,000円（※高校生以下の場合は図書カード）
② 「三重県知事賞」	1点	賞金	5,000円（※高校生以下の場合は図書カード）
③ 「三重県議会議長賞」	1点	賞金	5,000円（※高校生以下の場合は図書カード）
④ 「三重県教育委員会賞」（学生の作品）	1点	賞金	5,000円（※図書カード）
⑤ 「三重県社会福祉協議会長賞」	1点	賞金	5,000円（※高校生以下の場合は図書カード）
⑥ 「努力賞」	5点	賞金	1,000円（※図書カード）

③ 募集期間

令和3年4月1日（木）～5月31日（月）※当日消印有効

バッジデザイン・寄付つき商品プロジェクトへの応募方法等の詳細については、
三重県共同募金会のHPをご覧ください。

三重県共同募金会



たくさんのご応募を
お待ちしております

連絡先

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館2F

TEL: 059-226-2605 FAX: 059-221-0044 E-mail: miekyoubo@miewel.or.jp

令和3年度共同募金配分申請を受付けています

(令和4年度事業充当)

募集期間 ※当日消印有効

令和3年5月1日(土)～5月31日(月)



対象・団体

- 社会福祉法第2条第2項および第3項(第13号を除く)に規定する社会福祉事業を行う法人
- 更生保護事業法第2条第1項に規定する更生保護事業を行う法人
- 特定非営利活動法人及びボランティア団体
- 県社会福祉協議会、市町社会福祉協議会
- その他、三重県共同募金会が特に必要と認めた団体

申請区分	配分限度額	配分対象	受付
広域福祉活動支援事業	50万円	広域団体	三重県共同募金会
先進的モデル事業	50万円	広域団体	三重県共同募金会
社会福祉施設等整備事業	通常…工事50万円 備品30万円 災害復旧…建物整備100万円 備品整備50万円	広域団体	三重県共同募金会
		地域団体	市町共同募金委員会
地域福祉活動支援事業	30万円	地域団体	市町共同募金委員会

- 1 配分額の上限は、事業費の3/4または上表に定める額のいずれか低い額とします。
- 2 団体関係は連年配分の制限があります。
- 3 団体に剰余金が多い等、配分対象とならないことが明らかになった場合は申請を受理できませんのでご注意ください。

申請書の提出について

- 1 申請書様式については、三重県共同募金会ホームページからダウンロードし、ご記入のうえ提出してください。
- 2 申請にあたっては、申請事業のヒアリングなどを行います。

社会福祉公益補助事業も公募します

種別	公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団(令和3年度申請 3年度充当)
助成対象	社会福祉法人・社会福祉事業を行っているNPO法人・公益財団法人・公益社団法人等
対象事業	施設の拡充または改築・備品の購入・車両の購入等
助成限度額	当該助成事業の3/4以内で概ね200万円以内
受付期間等	令和3年5月1日～5月31日(当日消印有効)
申込方法	三重県共同募金会にお問合せください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 三重県共同募金会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131(三重県社会福祉会館内)

TEL: 059(226)2605 FAX: 059(221)0044

E-mail: miekyoubo@miewel.or.jp URL: https://mie-akaihane.or.jp/



発行人/井村 正勝

編集人/松本 利治・広報委員会

発行所/社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL: 059-227-5145 FAX: 059-227-6618

URL: https://www.miewel-1.com/ E-mail: info@miewel.or.jp

編集協力/株式会社アイリック

2021年4・5月号(通巻360号) 令和3年4月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。